

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成30年8月2日(2018.8.2)

【公開番号】特開2017-33893(P2017-33893A)

【公開日】平成29年2月9日(2017.2.9)

【年通号数】公開・登録公報2017-006

【出願番号】特願2015-155807(P2015-155807)

【国際特許分類】

F 2 1 S	2/00	(2016.01)
F 2 1 V	19/00	(2006.01)
F 2 1 V	23/00	(2015.01)
F 2 1 V	3/02	(2006.01)
F 2 1 Y	115/10	(2016.01)

【F I】

F 2 1 S	2/00	2 3 1
F 2 1 V	19/00	1 5 0
F 2 1 V	19/00	1 7 0
F 2 1 V	23/00	1 2 0
F 2 1 V	23/00	1 5 0
F 2 1 V	19/00	2 1 3
F 2 1 V	3/02	4 0 0
F 2 1 Y	101:02	

【手続補正書】

【提出日】平成30年6月20日(2018.6.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

直管型LED照明装置であって、  
管状に形成されたガラス製の筐体と、  
前記筐体の両端それぞれに接続された口金と、  
前記筐体の内部に収容され、LED素子が実装されたLED基板と、  
前記筐体の内部に少なくとも一部が収容され、前記LED基板に電力を供給する電源装置と、  
前記筐体の内部に収容され、前記LED基板と前記電源装置とを管軸に沿って仕切って前記LED基板と前記電源装置とを支持する、長尺状かつ平板状に形成された支持部材と、  
、  
を備える直管型LED照明装置。

【請求項2】

前記支持部材は、  
前記LED基板を載置する第1の面と、  
前記第1の面とは反対側において前記電源装置を支持する第2の面と、  
前記第1の面から前記第2の面が位置する側とは反対側に向けて立ち上がる第1壁部と、  
、  
前記第2の面から前記第1の面が位置する側とは反対側に向けて立ち上がる第2壁部と

、を有することを特徴とする請求項1に記載の直管型LED照明装置。

【請求項3】

前記支持部材は、

前記第1壁部と前記第2壁部との間に位置し管軸に沿って延びる溝を有する、ことを特徴とする請求項2に記載の直管型LED照明装置。

【請求項4】

前記溝は、

前記支持部材における管軸に沿って延びる長手方向全幅にわたって形成されている、ことを特徴とする請求項3に記載の直管型LED照明装置。

【請求項5】

直管型LED照明装置であって、

光拡散層、透光性のガラス層、及び透光性の保護層、が同順に位置する一体の構成を少なくとも有する管状の透光部と、

前記透光部の両端のそれぞれに接続される口金と、

前記透光部内に収容される、LED素子が実装された長尺状のLED基板と、

前記透光部内に収容される、前記LED基板に電力を供給する電源装置と、

を備える、直管型LED照明装置。

【請求項6】

前記LED素子は、

矩形状に形成されるとともに、その短辺が前記LED基板の長手方向に沿うように配置されている、

ことを特徴とする請求項5に記載の直管型LED照明装置。